



2024年10月31日

株式会社海遊館 広報・宣伝チーム  
〒552-0022 大阪市港区海岸通1-1-10  
TEL06-6576-5529 FAX06-6576-5551  
<https://www.kaiyukan.com/>  
(担当：萱島、田井、松村、松元)

## 2025年はアニバーサリーイヤー 海遊館・天保山マーケットプレース 35周年、 NIFREL(ニフレル) 10周年を迎えます。

2025年に、「海遊館」「天保山マーケットプレース」(大阪市港区)は35周年、生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」(大阪府吹田市)は10周年を迎えます。各施設の周年スローガンとシンボルマークが決定しましたので、お知らせします。

「海遊館」「天保山マーケットプレース」のスローガンは『**こころが、フフフ**』。皆様のこころがフフフと笑うような、“ちょっと”ワクワクする場所を目指します。

シンボルマークは、“ちょっと”を小さなピースに見立て、それらが組み合わさって1つの形となるジグソーパズルをモチーフとしました。2024年11月28日(木)にリニューアルオープンする、世界最大のサンゴ礁を再現する「グレート・バリア・リーフ」水槽と「35(サンゴ)」にちなんだサンゴ礁の他、周辺施設の天保山大観覧車や観光船サンタマリアをデザインに取り入れています。

こころが、フフフ



35th  
ANNIVERSARY

「海遊館」

「天保山マーケットプレース」

35周年シンボルマーク

まいにち、フフフ



10th  
ANNIVERSARY

「NIFREL」

10周年シンボルマーク

「NIFREL」のスローガンは『**まいにち、フフフ**』。まいにちがもっと面白くなる、“気づき”が生まれる場所を目指します。

シンボルマークは、“気づき”を小さなピースに見立てたジグソーパズルをモチーフとし、ワオキツネザルやオウギバトなど、NIFRELで暮らす生きものたちをデザインに取り入れました。目が合った人たちの心を動かすような、こちらを見つめる生きものたちは、施設コンセプトである「感性にふれる」を表現しています。

株式会社海遊館は、これからも皆様に「地球をもっと面白く。」感じていただけるよう、歩み続けてまいります。

### 【 お問い合わせ窓口 】

海遊館 広報・宣伝チーム (06-6576-5529)

NIFREL PR・広報担当 (06-6876-2204)

### 【 2025年版海遊館カレンダーについて 】

海遊館では、35周年シンボルマークを使用した2025年版カレンダーを、11月1日（金）から販売します。

各月には様々な一面を見せてくれる海遊館の生きものたちの写真を収録している他、カレンダー部分にシンボルマークのカラーを施した、祝祭感のあるデザインとなっています。

価 格：1,300円（税込）

販売開始：2024年11月1日（金）～

販売場所：・海遊館エントランスビル3F「オフィシャルショップ」  
※オフィシャルショップへは海遊館の入館が必要です。  
・海遊館エントランスビル2F「オフィシャルミュージアムショップ」  
・海遊館オフィシャルショップオンライン  
<https://www.kaiyukan.jp/>

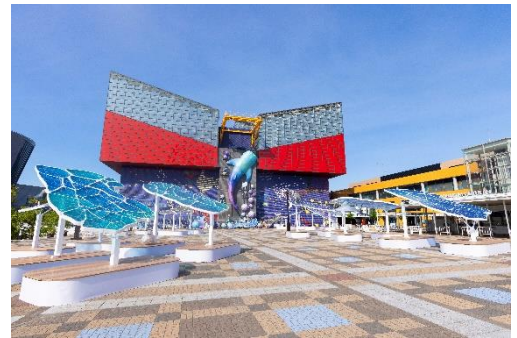


その他の周年関連グッズ、イベントの詳細は後日改めてお知らせします。

### 【 海遊館 概要 】

1990年7月20日開業。「環太平洋火山帯（リング・オブ・ファイア）」と「環太平洋生命帯（リング・オブ・ライフ）」の二つの環をテーマに、広大な「太平洋」水槽を中心とした環太平洋の自然環境を再現し、ジンベエザメやオウサマペンギン、ワモンアザラシなど約620種30,000点の生きものを飼育展示しています。

1997年には、高知県土佐清水市に水族館附属の研究施設として世界最大規模の水槽を持つ「大阪海遊館 海洋生物研究所 以布利センター」を開設し、ジンベエザメをはじめとする海洋生物の調査研究に取り組んでいます。



### 【 NIFREL 概要 】

2015年11月19日開業。“感性にふれる”をコンセプトにした、「生きているミュージアム」。まるで美術館で生きものに会うような展示空間の演出とともに、アーティストとのコラボレーションなど、新しい体験を提供しています。

